

科目名	基礎デザイン実習B							年度	2025
英語科目名	Basic Design Practice B							学期	前期
学科・学年	デザイン科 グラフィックデザイン専攻 1 年次	必／選	必	時間数	60	単位数	2	種別※	実習
担当教員	鶴田 勇一			教員の実務経験	有	実務経験の職種	グラフィックデザイナー		
【科目の目的】									
長い時間をかけて、先人たちの手でデザインされ、洗練を重ねてきた書体を、レタリングすることで視認性やバランス、フォルムの美しさを追体験し自身の知識としていきます。									
【科目の概要】									
レタリングをとおして、文字の形への理解を深めていきます。様々な書体(フォント)に触れることで美的な感覚を養います。なかなかうまく描けないこともあります。まずは描かないとアドバイスが受けられないので積極的に課題制作に取り組みましょう。									
【到達目標】									
A. 複数の書体のいくつかの文字を描いて特徴を理解する B. 錯視や濃度を理解して文字のバランスを整えられる C. 書体のバランスを考えて文字をデザインする									
【授業の注意点】									
課題制作した自身の作品は、丁寧に保管し大切に扱うこと。使用する道具と教室はきちんと管理をして常に手入れを怠らないこと。持参する道具を忘れないこと。貸し出しはしません。課題の提出期限は守ること。授業時数の4分の3以上出席しない者は課題提出と評価を受けることができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	書体の特徴を細部までとらえて描けている		書体の特徴をおおむねとらえて描けている		書体の特徴が表現できていない				
到達目標 B									
到達目標 C	錯視や濃度を理解して細部まで文字のバランスを整えられる		錯視や濃度を理解しておおむね文字のバランスを整えられる		錯視や濃度を理解して文字のバランスを整えられていない				
到達目標 D									
到達目標 E	書体のバランスを考えて細部まで文字をデザインできている		書体のバランスを考えておおむね文字をデザインできている		書体のバランスを考えて文字をデザインできていない				
【教科書】									
特になし									
【参考資料】									
毎回授業にて資料配布を行う 筆記具・画材・定規など制作に必要な道具は各自持参									
【成績の評価方法・評価基準】									
提出された課題で評価する									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

